

第5回定時株主総会 懇談会

株式会社TOKAIホールディングス
(証券コード:3167)

2016年6月24日

2016年3月期連結業績

2016年3月期 連結決算のサマリー

- 1) 前期比66億円の減収だがガス仕入価格の値下がりに伴う販売価格引き下げの影響が△103億円と大宗を占める。
- 2) 光コラボ販促にかけた先行コスト30億円が減益要因だが、顧客件数増加およびガス仕入価格値下がりに伴うマージン改善による利益等の22億円の増益で吸収し、営業利益を8億円の減益にとどめた。そして、2015年5月公表の営業利益、経常利益、当期純利益をいずれも達成した。
- 3) 今期21.5万件の光コラボ化が進捗し(期末21.9万件)、またガスおよびCATV顧客も増加して全体顧客件数は256万件となった(2万件純増)。
- 4) 有利子負債残高は引き続き減少した(2011/3月末1,240億円→714億円)。
- 5) 配当+自社株買いで総還元性向100%を実現した。また、予想利益からの上振れに伴いホールディングス化後初の増配(12円/年→14円/年)を決定した。

2016年3月期 連結業績

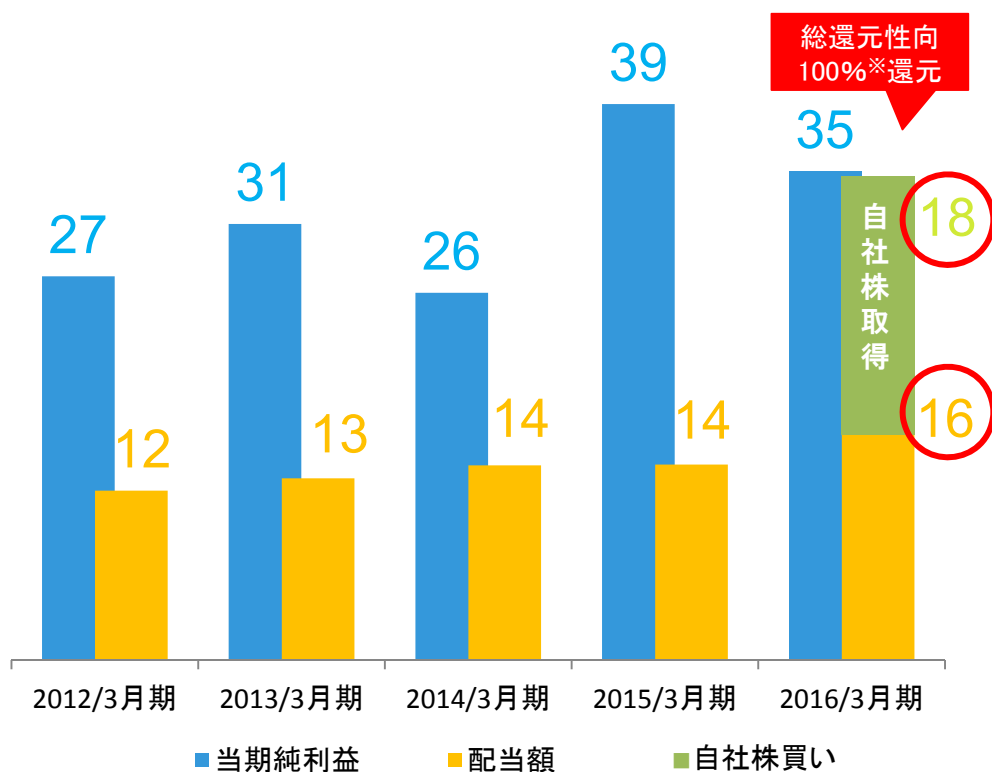
- 減収はガスの値下げ(都市ガス、LPガスをあわせ△103億円)が影響した。
- 光コラボの拡販に30億円をかけたが、リテール顧客の増加による増益、ガス仕入価格値下がりに伴うマージン改善などで挽回、営業利益を前期比△8億円に留めた。尚、全ての利益項目が2015年5月公表の当初予想比で上回った。

	2015年3月期	2016年3月期	前期比	2015年5月 公表予想
売上高	1,875億円	1,809億円	△66億円	1,922億円
営業利益	90億円	82億円	△8億円	78億円
経常利益	85億円	82億円	△4億円	74億円
当期純利益	39億円	35億円	△5億円	32億円
1株当たり利益	34.16円	30.01円	△4.15円	28.04円

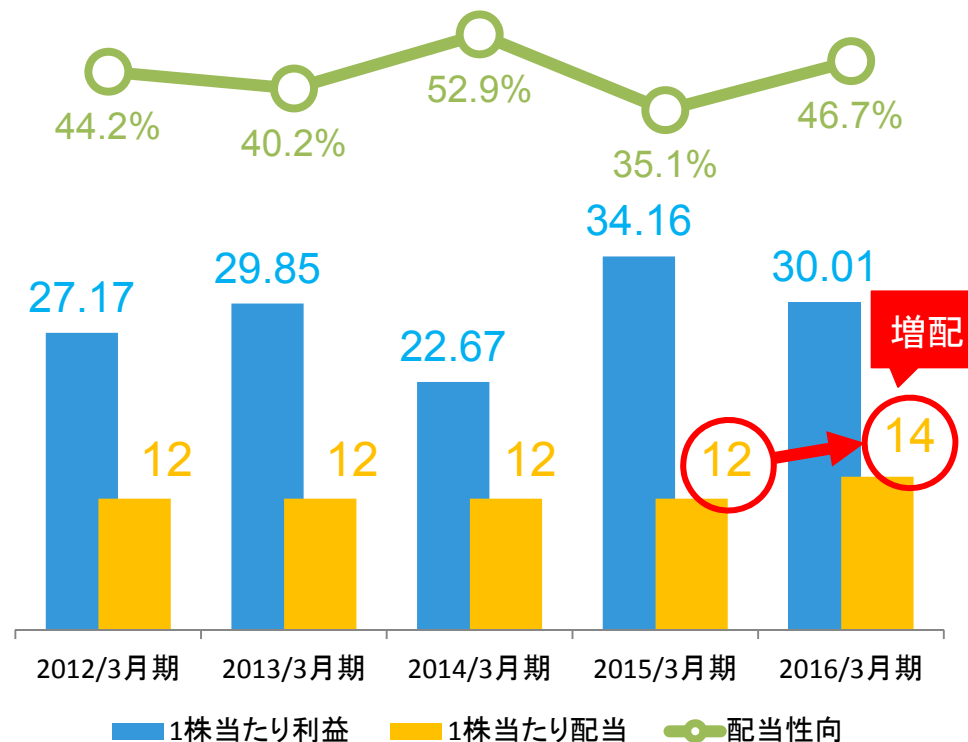
総還元性向100%（配当+自社株買いを決定）

- 今期の総還元性向100%の方針に沿って配当以外に18億円(330万株)の自社株買いを実施した。
- また当初予想から利益が上振れしホールディングス化後初の増配を決定した(12円/年→14円/年)。
- 更には、保有する自社株(2015/9月末39,190千株:25.3%)につき株主の皆様の将来の希薄化ご懸念払拭のため発行済株式数の10%にあたる1,552万株を消却した。

当期純利益(億円)と配当額(億円)



1株当たり利益(円/株)・配当金(円/株)と配当性向(%)



2017年3月期の業績予想

2017年3月期 連結業績予想

- 売上高は3期ぶりの増収、利益は2期ぶりの増益となる増収増益で、すべての利益項目が過去最高を更新する大幅な増益となる見込み。
- IP16“Growing”(2014年5月公表)の最終年度利益を達成する見込み。

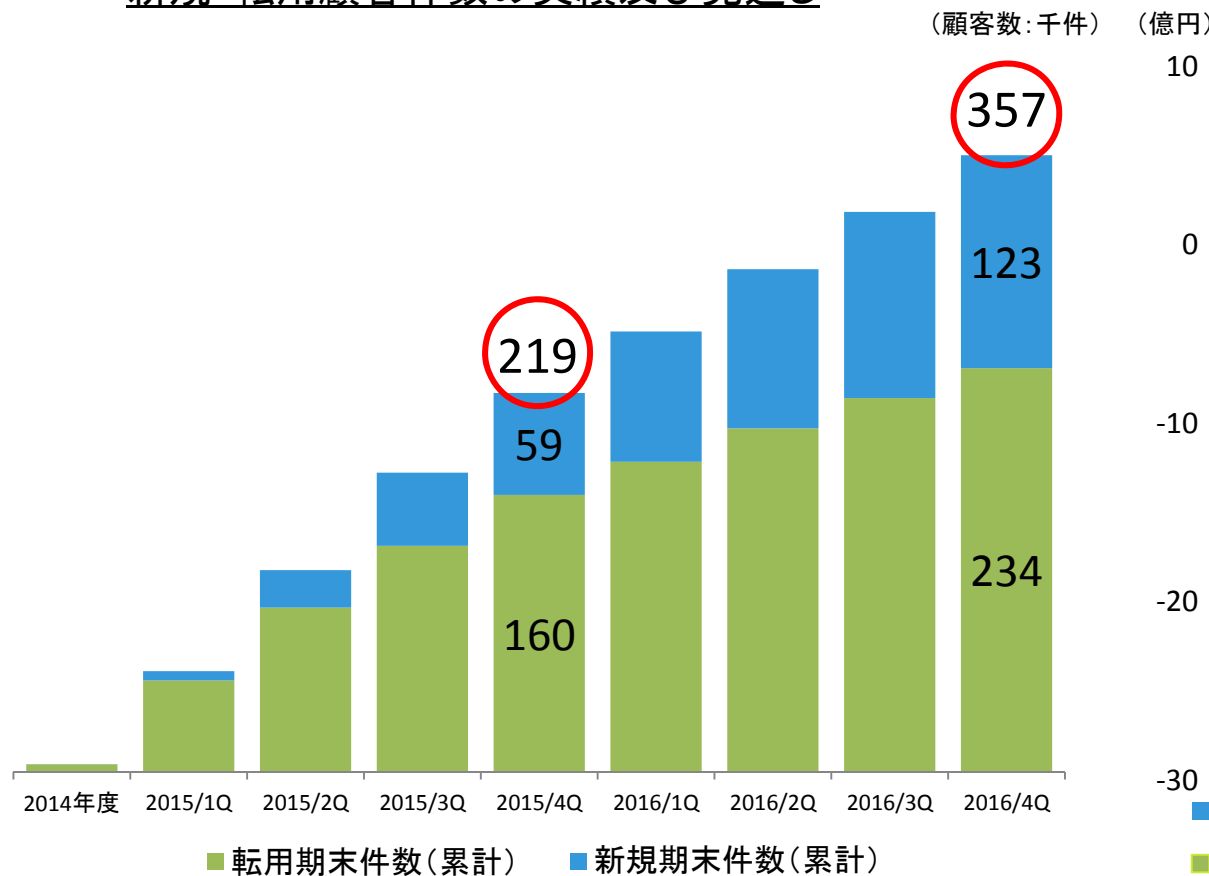
	2016年3月期	2017年3月期	前期比	IP16“Growing” 2017年3月期
売上高	1,809億円	1,871億円	+62億円	2,095億円
営業利益	82億円	126億円	+43億円	126億円
経常利益	82億円	118億円	+37億円	118億円
当期純利益	35億円	62億円	+28億円	62億円
1株当たり利益	30.01円	55.13円	+25.12円	54.06円

大幅増益に向けた主要な取組み

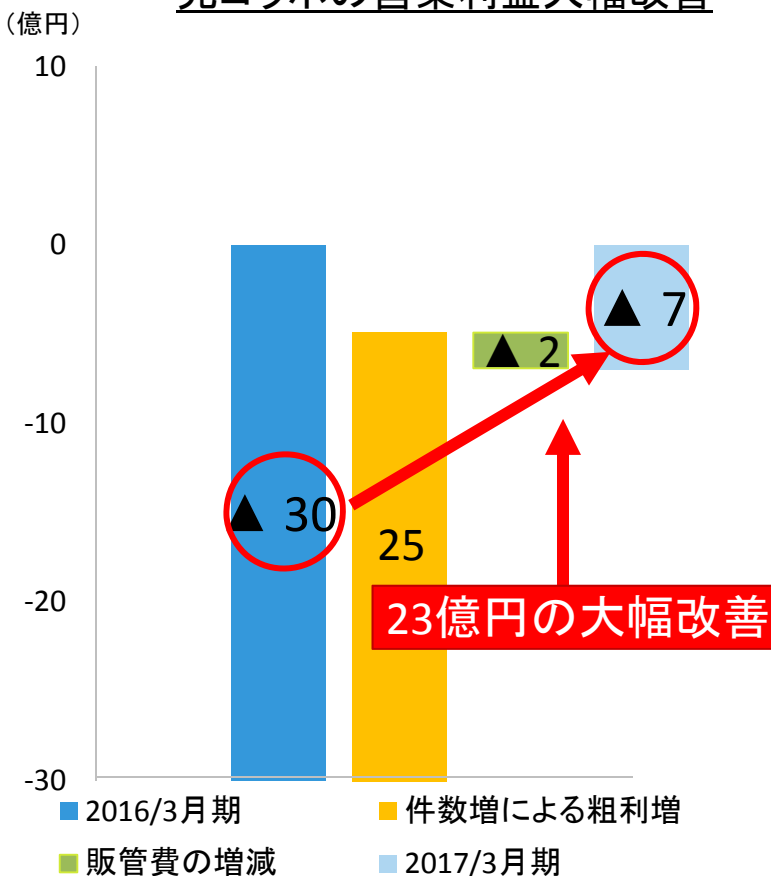
光コラボレーションモデルの推進

- 「TNCEヒカリ(静岡県内)」「@T COMヒカリ(全国)」を開始して一年が経過。
- 前期末の顧客数219千件を今期末には357千件に拡大する計画。
- 今期は課金件数増加による増益により、収益が前期比23億円の大幅改善。

新規+転用顧客件数の実績及び見通し

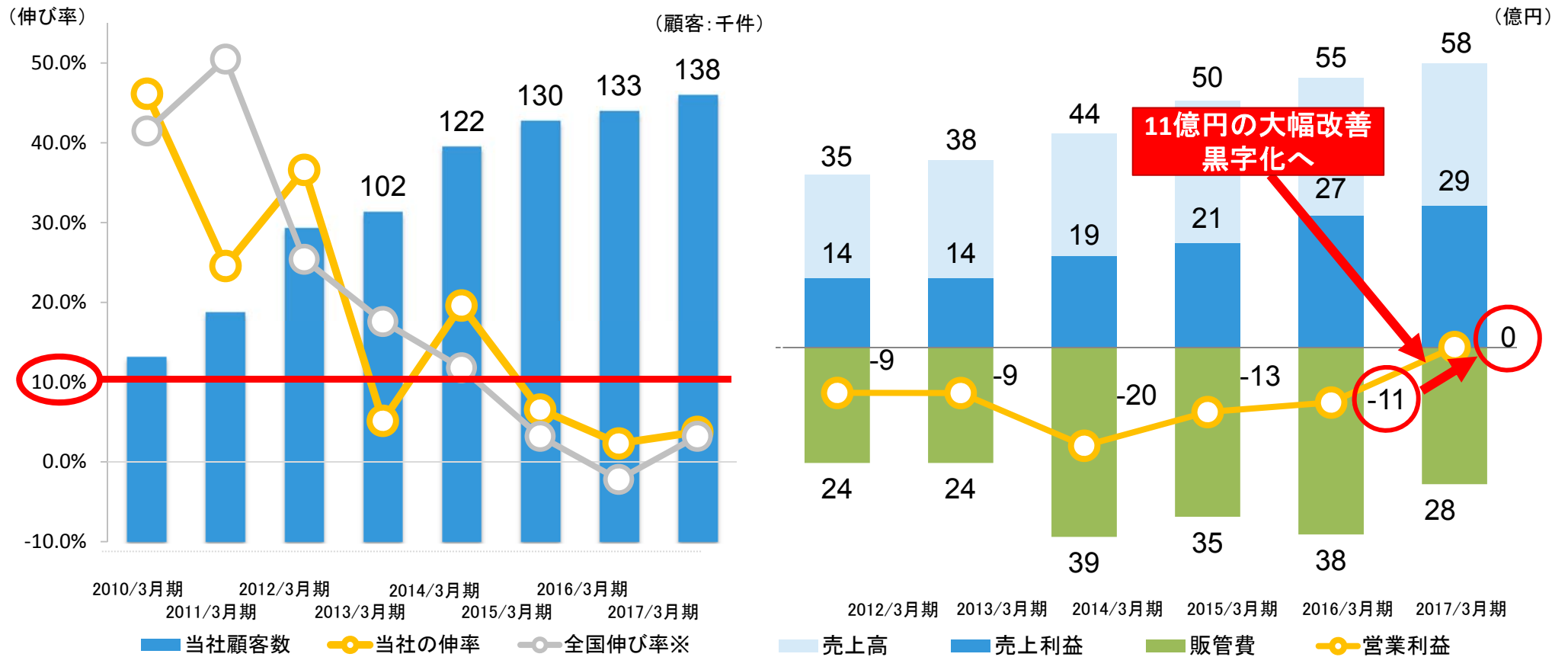


光コラボの営業利益大幅改善



アクア事業は効率重視に転じ黒字化へ

- 市場環境に応じて効率重視の顧客獲得に転換。
- 営業エリアの選別及び販売体制の見直しにより、収益の大幅改善を図る。
- 収益は前期比で11億円改善し、黒字化を果たす。



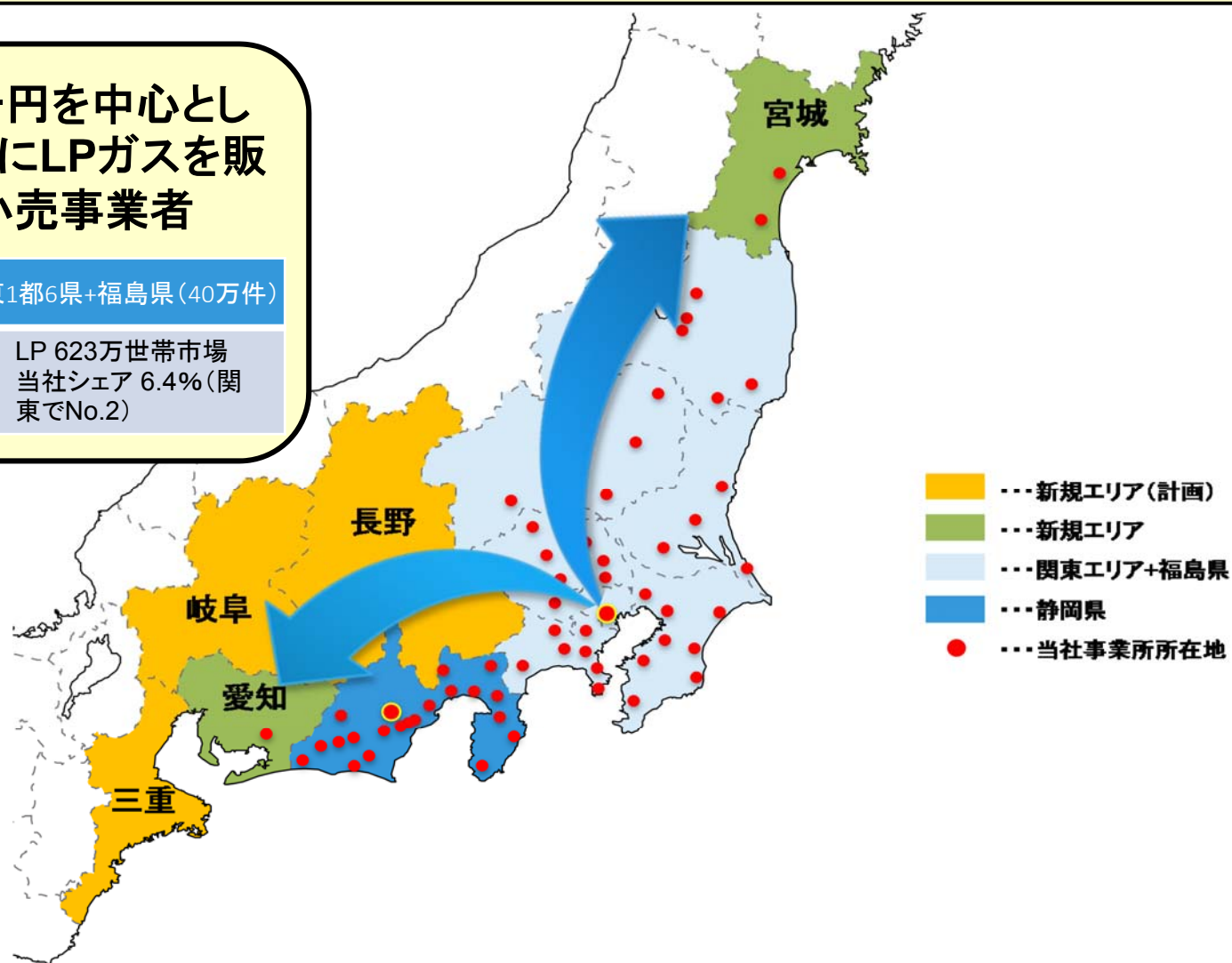
※ 日本宅配水&サーバー協会[JDSA]調べ

エリア拡大によるガス事業の収益拡大

- 需要拡大が見込める関東エリアと利益率の高い周辺県を取り込み収益拡大を目指す。
- 5年後の顧客獲得の新規エリア割合を3割に、顧客件数も3割増の80万件とする計画。

静岡県および関東一円を中心として、58万件のお客様にLPガスを販売する国内No.3の小売事業者

静岡県(18万件)	関東1都6県+福島県(40万件)
<ul style="list-style-type: none"> LP 81万世帯市場 当社シェア 21.7%(静岡県内トップシェア) 	<ul style="list-style-type: none"> LP 623万世帯市場 当社シェア 6.4%(関東でNo.2)



グループ顧客件数計画

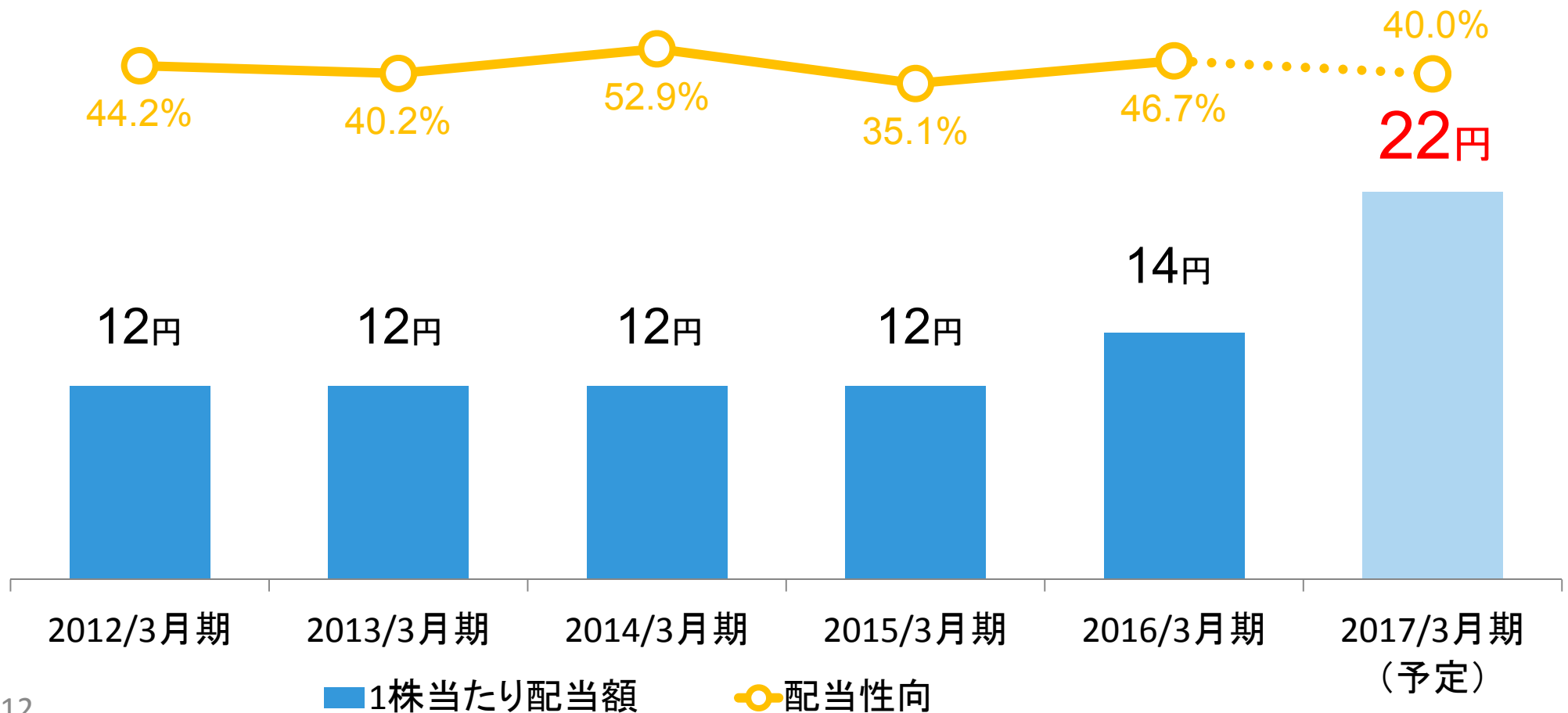
▶ 主力のガス・CATVを伸長させ全体で約47千件を増加させる計画(光コラボも約14万件進捗させる)

		2016年3月末	2017年3月末	前期末比
ガス(LP・都市ガス)		634千件	650千件	+16.2千件
情報通信	従来型ISP等	633千件	499千件	△133千件
	光コラボ	219千件	357千件	+138千件
	モバイル	236千件	237千件	+1.3千件
	小計	1,088千件	1,094千件	+5.6千件
CATV		710千件	730千件	+20.6千件
アクア		133千件	138千件	+4.9千件
セキュリティ		18千件	18千件	+0.3千件
合計		2,558千件	2,604千件	+46.6千件

11 ※千件未満四捨五入。情報通信(固定・無線)とCATVで通信サービスが重複、合計値からは除外。

株主還元(増配)について

➤ 配当性向40%を目途とする当社の配当方針により、1株当たり年間配当金を前期の14円から22円に、8円の増配を予定。

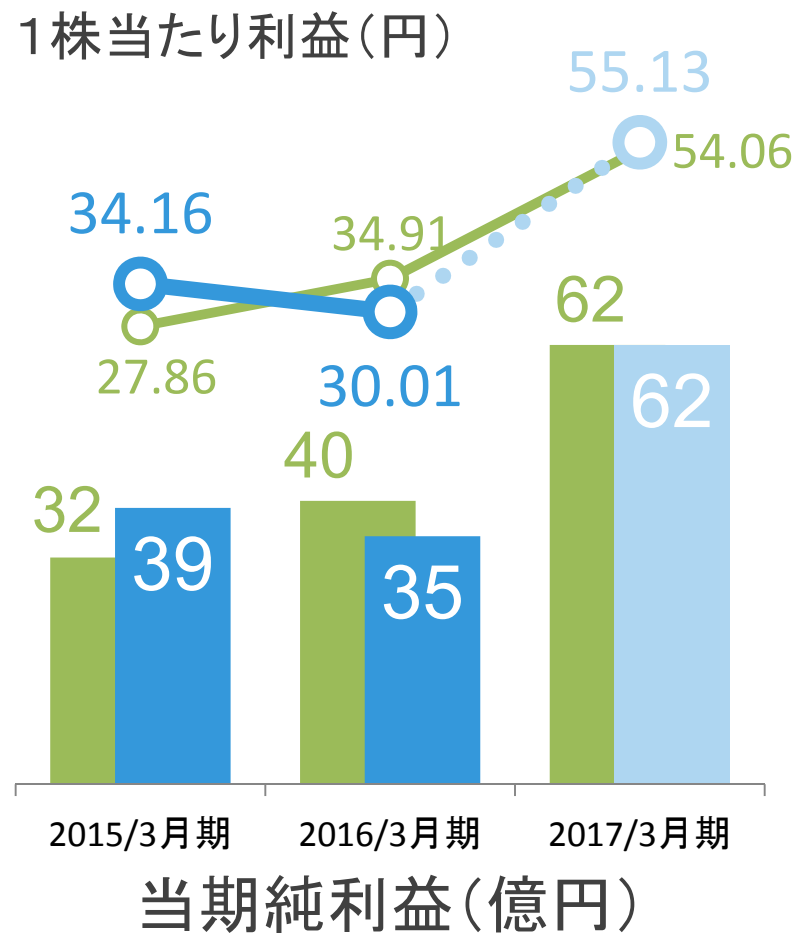
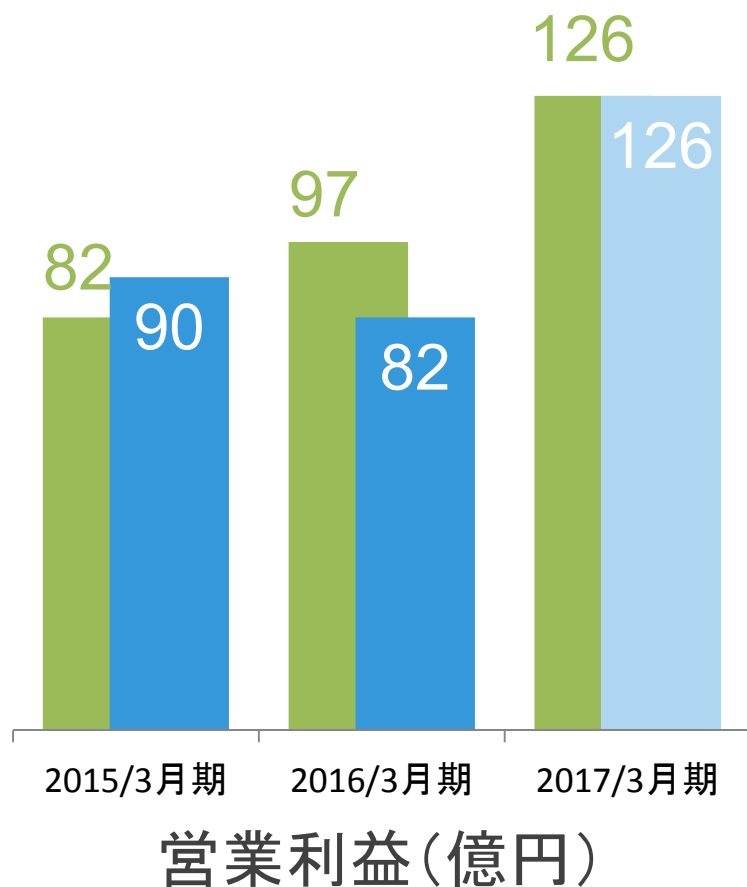


IP2016“Growing”の 着地見通しについて

収益力(P/L)

- IP16に織込まなかった光コラボの影響も前期限りで、最終年度の今期は計画利益を達成する。
- IP13の課題であった事業収益力強化を仕上げる。

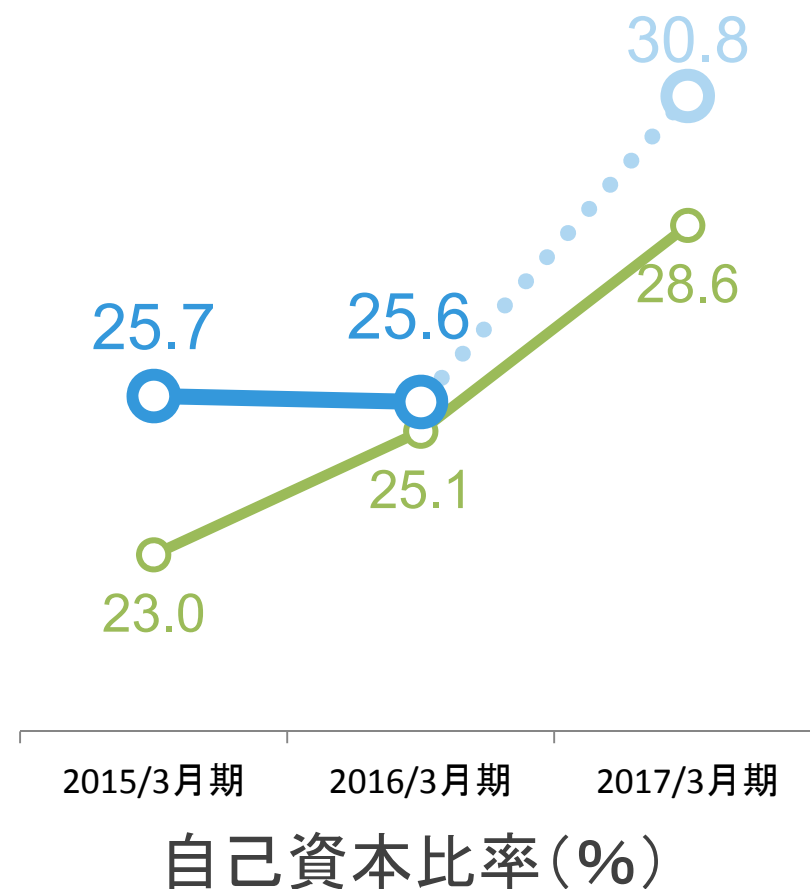
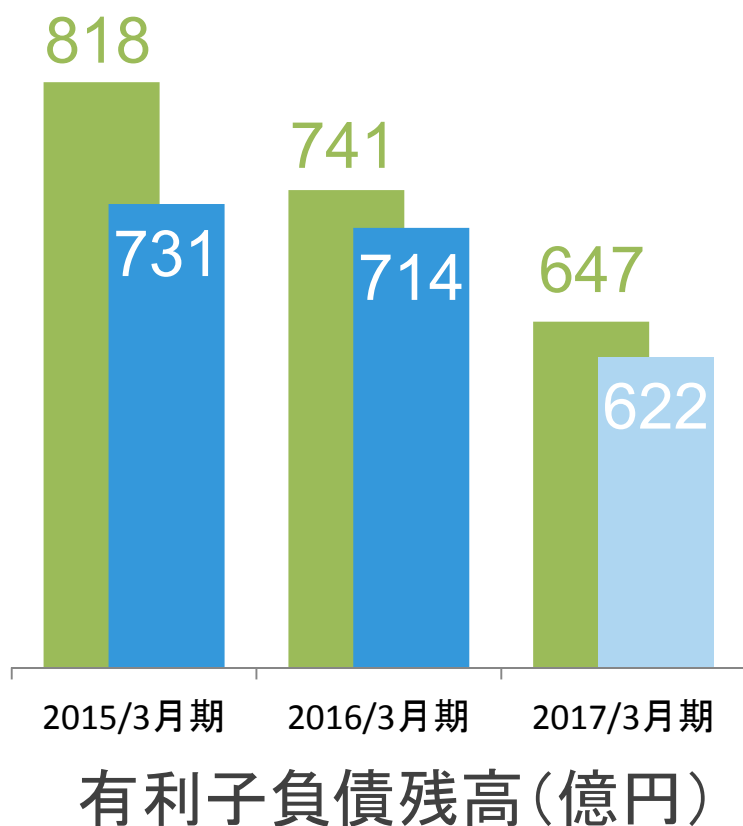
■ IP16 ■ 実績 ■ 2017/3月期予想



財務指標(B/S)

- ホールディングス化直前にあった1,240億円の有利子負債残高は最終的に半減する見込み。
- 有利子負債削減に加え、資本政策や内部留保などにより自己資本比率はホールディングス化直前の7.7%から30%超まで改善する見込み。

■ IP16 ■ 実績 ■ 2017/3月期予想



次の成長期に向かって



- 進行中のIP16“Growing”は、IP13期間の課題であった「事業収益力強化」を実現する期間であり、最終年度に過去最高値を更新して仕上げる。
- 1年をかけ2020年までの次期中期経営計画を策定する。将来の成長の道筋をつけていく。

「経営体質強化」
(2011-2013)

「事業収益力強化」
(2014-2016)

「成長戦略の実行」
(2017-2020)

InnovationPlan2013

InnovationPlan2016
Growing

Next Mid-Term
Management Plan

事業再編
財務の改善
顧客基盤拡大

主力事業の収益力強化
規制緩和への対応
財務の更なる強化

エリア拡大/M&A推進
クロスセル拡大
新サービスの創出

マーケットから一定のご理解

2015年4月1日終値を100とした場合の日経平均株価と当社株価水準の推移



ご清聴ありがとうございました

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

株式会社TOKAIホールディングス 広報・IR室
〒420-0034 静岡市葵区常磐町2丁目6番地の8
TEL: (054)275-0007
FAX: (054)275-1110
<http://tokaiholdings.co.jp>
e-mail: hd-info@tokaigroup.co.jp

うれしいをつなぐ。ひろげる。

